

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

納税者主権の政治・リニア新幹線



町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2171

2 期連続トップ当選

鶴川平和台[街づくり]の質問事項

「地区街づくり」と言うのは、既存の住宅街に規制をかけ、地域環境を維持していこうと言う趣旨で行なわれている手法です。建築協約、建築協定とは別物です。第 2 定例会では、この「地区街づくり」を実際に進めた平和台地区のやり方が不適切ではなかったかと問いました。この、「地区街づくり」は成立した場合、関係するエリアの個人住宅に将来的な影響を与えるため、その適用には条例や規則で厳密なルールが制定されています。すなわち、規制するエリアが限定された図面が提示されること、投票者の成立条件（世帯数と合計面積数）の双方が、それぞれに 3 分の 2 を超えることとなっています。

ところが、町田市で進行しているケースでは、当初、全部の条件は満たさなかったため、追加策が取られ、当該エリアの変更がなされ、しかも、投票・開票作業を執行部自身が時間を前後しながら進めると言う方法で 3 分の 2 が賛成したと言う選挙が行われました。町田市は公職議員の選挙のように厳密にやる必要はないと言う回答をしていますが、それでは今後、地区の協力が得られないではないかと主張しました。



平和台入り口にある「鶴川第二小学校」

鶴川平和台[街づくり]の問題点

第 3 回定例会でも引き続き「投票」について質問しました。「公職選挙法の選挙ではないから、投票の秘密性が確保されないでよいのか」と言うものが第一です。次いで、「1 回目で不成立だったために、2 回目の投票に関して、なぜ特定のエリアを追加したのか、何時、だれが、追加を認めたか？その時期以前に、地元での話はどうなっていたか？市職員は同席していたか？」と言うものです。



28 班東側

このエリアは何時、住宅地になるのか？

質問時間に限りがあり、詳細を尋ねることはできませんでした。しかし、追加エリアを入れた投票に関して、行政は、地元の合意はなかったと認めながら、条例の趣旨には反していないとするが、「趣旨に反していなければ、条例に基づく手続きは不要と考えるのか？」との大きな課題が今後に残ります。

町田市は「鶴川平和台街づくりプラン」を多摩地域における「第 1 号」として大々的に宣伝しました。市は「第 1 号の称号」が目的で地元は二の次だったとの意見もあります。「同プラン」の内容では、建替に際し、一部の方（特に不整形地・間口狭小）に過酷な制約を与えます。165 m²以上でも形状等は様々。一律の規制に無理はありませんか？

★ 無所属で活動・市議会は保守連合 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ（市議会議員）

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

セミナー主催・インターンシップ主宰



楽しい社会体験プログラム



携帯QRコード
でブログ閲覧

研修レポート⑤ 稲葉千岬

今回のインターンシップでは町田市の自由民権資料館へ行きました。自由民権資料館では民権家の中島信行と俊子について取り上げ、展示されていました。中島信行を扱う理由は二点あり、一つに町田近辺に由縁があること、二つに立憲政治が始まった頃には悪戦苦闘しながら初の衆議院議長をつとめたという点です。家に帰ってから中島信行と町田の関係を調べてみると、第 1 回衆議院議員総選挙で神奈川県第 5 区（現在の相模原市とその周辺）から立候補して当選したからではないか、ということがわかりました。

中島信行は土佐の下級藩士でした。学問が非常に良く出来た中島信行はあるとき「このままじゃだめだ」と思い脱藩します。一時長州藩に身を置きその後長崎で坂本龍馬の海援隊で対外交渉を担当し、交渉の頭角を現しました。その後その交渉の能力を買われ、今でいう神奈川県庁や自由民権運動のリーダーの一人として活躍します。また、立憲政治が始まり初代衆議院議長も務めました。

(勉強の後は頭を休める時間：町田リス園)



昭和女子大学 2 年生 稲葉 千岬(第 36 期生)

研修レポート② 石井優希

京都に生まれた俊子は、小学校の頃より「俊才」と呼ばれ、早くから書に親しみ、文人としての才能を開花させていきました。小学校卒業後、京都府女子師範学校（教員養成を目的とした旧制の学校）に入学するも病気のため退学します。その後、十六歳にして漢学塾を開きます。また明治十二年には榎村正直らの推挙で宮中に出仕し、十八歳にして「孟子」などの漢学を皇后に進講しますが、その二年後には病気のため辞任することとなります。



昭和女子大学 3 年生 石井優希(第 36 期生)

その後、俊子は演壇に立つようになります。女子教育の価値観そのものを変えたかった俊子は、「男女同権論」よりも「男女平等論」、男女が社会的に同等な地位となることを目指して演説をしていたといいます。精力的に活動していた俊子ですが、明治十六年に滋賀県で行われた「女子学術演説会」での「函入娘」の演題が政治批判と疑われ、有罪となってしまいます。その翌年上京し、中島信行と出会い、明治十八年に結婚します。以後、中島湘煙の筆名で執筆活動を盛んに行いつつ、新栄女学校を経てフェリス和英女学校で教鞭をとることとなります。女性民権運動の先駆者として活動してきた俊子は、明治三十四年に結核で他界します。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : yoshidaben@gmail.com mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp (モバイルのみ接続)